

『パラスポーツで地域を笑顔に』 パネルディスカッション報告

パラワクからのメッセージ

愛媛のパラリンピアン、パラリンピックを目指す素晴らしい選手の存在を、皆さんにまず知って欲しい！！選手の競技継続や強化に必要な、練習場所、指導者、支援者、国際大会参加等の資金、就労や生活自立の支援等々が、必要です。



車いすテニス 清水克起選手(株)ファインデックス様より

国際大会に会社が派遣する形で、一つ一つ実績を積んでいるところです。会社は、パラアスリート支援とともに、仕事面のキャリアアップも重視しています。雨天時の屋内練習場と試合と同じハードコートの練習場を必要としています！



菊池紗弥香選手、(株)フジ様、愛アスリートクラブ様より

得意の陸上 100.200m のほか、パラリンピック種目の 400m 練習に取り組んでいます。会社として、福祉就労事例は多いけどパラアスリート支援は初のため、菊池選手の支援の在り方を模索しながら進めています。菊池選手は仕事も一生懸命、競技練習でも、自分を追い込んで一生懸命です。試合で力を発揮するための心身の自己管理や心身のケアが必要です。愛アスリートクラブの指導者はほとんど教員や仕事しながらのため、自主練習を充実させることが課題です。(また、雨天時の練習場所の確保や理学療法士等によるケアにも、経費が必要です。)



パラワクの視点より

福祉科の高校生や、福祉関係の方々、県の障がい者スポーツ指導員やボランティア育成を進めて下さっているの方々等、皆さまのご参加に心から感謝いたします。もっともっと思いや情報を共有できることがあり、繋がりを深めることで、新しい発想も生まれると感じました！！ありがとうございました！！

その後の報告

2月15日愛媛新聞朝刊に掲載いただきました

パネルディスカッションは、「えひめ障がい者スポーツ研究会」(主催:三上伸人)に所属する方々の協力のもとに実施されました。私たち「特定非営利活動法人パラワク」もこの研究会のパーツを担う形です。行政、企業、医療、福祉、教育、各種スポーツ団体や個人・・・と、それぞれの分野や立場から、一緒に愛媛のパラスポーツを盛り上げていきましょう！！